

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和6年7月19日（金）午後1時

出席委員（8名）

（委員長）又 野 史 朗 （副委員長）大 下 哲 治
稲 田 清 門 脇 一 男 田 村 謙 介 徳 田 博 文
錦 織 陽 子 吉 岡 古 都

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松田局長 田村事務局次長 田渕係長

傍 聴 者

岡田議員

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 正副委員長の互選
- 2 市議会だよりについて
- 3 議会報告会・意見交換会について

〜〜

午後1時06分 開会

○錦織臨時委員長 皆さん、こんにちは。ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

本日は、米子市議会広報広聴委員会要綱第6条の規定により、準用する米子市議会委員会条例第8条第2項の規定により、年長の私が、委員長が互選されるまで委員長の職務を行います。

この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、臨時委員長の指名とさせていただきますと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認め、そのように決定しました。

委員長には、又野委員を指名いたします。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○錦織臨時委員長 御異議なしと認めます。委員長には又野委員が当選されました。

委員長より就任の御挨拶があります。

○又野委員長 皆さん、こんにちは。先ほど、広報広聴委員会の委員長に任命いただきました又野史朗です。市民の皆さんに、しっかりと議会の活動を伝えること、任務だと思っています。そして、委員会内でも、民主的に活発な議論ができるよう努めてまいりますので、皆様、どうぞよろしく願いいたします。（拍手）

ありがとうございます。すごい拍手をいただきまして。

そうしますと、引き続きまして、副委員長の互選を行いたいと思います。

この際、お諮りいたします。互選の方法につきましては、指名推選の方法によることとし、委員長の指名とさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○又野委員長 では、御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

副委員長には、大下委員を指名いたします。これに御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○又野委員長 ありがとうございます。御異議なしと認めます。副委員長には、大下委員が当選されました。

副委員長から就任の御挨拶があります。

○大下副委員長 副委員長に就任いたしました大下でございます。委員長を補佐しながら職務を遂行できるように取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。（拍手）

○又野委員長 よろしく願いいたします。

では、そうしますと、続けて、協議事件2に入りたいと思います。市議会だよりについて協議をいたしたいと思います。

事務局からの説明をお願いいたします。

田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 米子市議会だよりについて、お手元の議会だより6月号、用意させていただきましたけれども、それと、SideBooksに掲載の資料1、そして資料2を使って説明させていただきたいと思います。

まず、議会だより6月号を御覧ください。よなご市議会だよりは例年3月、6月、9月、12月の合計4回発行しております。次回の議会だよりの発行は、6月議会の開会が例年より少しずれてスタートしましたことから、10月1日の発行を予定しております。掲載内容につきましては、皆様御存じのとおり、市政一般に対する質問の内容、議案の審議結果、請願及び陳情の審査結果、可決された意見書、定例会の予定など掲載しておりますが、次回が10月1日発行となりますことから、お手元の議会だより31ページの下段に記載しておりますような次回の定例会の予定、つまり、9月定例会の予定につきましては、今回掲載を省略させていただきたいというふうに思っております。

この議会だよりの作成につきましては、広報広聴委員の皆様にご議論いただきながら、事務局が調整、対応して、印刷会社に原稿を提出して発行しておりますが、前任期の委員会では、表紙のデザイン、お手元にあります1ページ、カラーであります、写真のデザイン。そして、この表紙の裏の内容、ここにダイジェストが載っておりますが、こういった内容、そして、最終ページの裏、6月号でいいますと、この議会改革の内容を載せております。この3つの項目について、委員会から選出した方々で構成される作業部会、こちらのほうで案をまず作成していただいて、その後、広報広聴委員会で諮って最終決定をする、そういった流れで進めてこられました。

表紙の写真ですね、デザインにつきましては、委員の皆様自ら撮影いただいた写真を作業部会で出し合って選考しておりましたし、表紙の裏のダイジェストにつきましては、定例会の内容として二、三項目程度、予算化された事業、金額、前回でいいますと、巡回バスの実証運行、米子アリーナの整備、こういったものを検討されて載せられました。掲載文につきましても、森田委員のほうに作成していただいたりということで、委員の皆様

作成していただいております。裏表紙の内容は、市議会の動きとして目立ったもの、例えば議会改革のことですとか、インターネット配信、意見交換会の参加者の募集であるとか、委員会のメンバーの構成、こういうようなものを上げていただいて、さらに掲載文章の構成についても皆様にお考えいただいております。

SideBooksの資料1を御覧ください。議会だよりの作成について、前任期の方々から大きく3点ほど、継続協議事項として申し送りされております。1つ目は、一般質問の記事や見出しの文字が小さくて読みづらいといったようなこと、2つ目は、常任委員会の議論について掲載がないといったこと、3つ目につきましては、主権者教育の観点などから、子どもたちの声をカラーで掲載してはどうかといったようなことでございます。

この協議事項につきましては、何か今日決めていただくというふうには思っておりません。今後、年間を通して皆様のほうで議論を深めていただきたいなというふうに思っておりますが、本日につきましては、まず、皆様に、前任の方々を踏襲して、作業部会を編成の上、協議を進めるのか、しないのか。するのであれば、何人、誰を選出するのかというようなことを決めていただいて、その後、今後の日程を決めていただきたいなというふうに考えております。

なお、資料2を御覧ください。これは、議会だよりの発行スケジュールでございます。印刷会社への入稿期限が8月23日というふうになっております。このため、8月19日に広報広聴委員会を開催させていただきたいなというふうに思っております。そこで表紙、表紙の裏、裏表紙、先ほど説明させていただきました3項目について、最終決定をしていただきたいというふうに考えておりますが、この決定をする前に、皆様方で、2回程度、この3項目について御協議いただきたいというふうに考えております。作業部会を構成されるならば、その構成メンバーで、されないならば、今のこのフルメンバーで集まっていたいただきたいなというふうに思っておりますが、お盆休みもございますので、その前の週の8月6日、8月9日、この2日はどうかなというふうに、現時点では考えております。その辺りも御協議いただけたらなというふうに思っております。

説明は以上でございます。

○又野委員長 ありがとうございます。

そうしますと、前回のときは作業部会を設置して進めておられたということですがけれども、同じように、私ちょっと前回やってないので、はっきりと分かんないんですけれども、そのほうがやりやすいからだと思うのでされたと思うんですけれども、作業部会、そしたら設置する方向でいいのかなのか、ちょっとまず御意見をいただきたいと思っておりますけれども、どんなものでしょうかね。前回、ちなみに何人で。

田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 前は議会報告会の作業部会と議会だよりの作業部会、3名ずつにまず分かれていただいて、そこに委員長と副議長が入っておられて、そういうような構成で作業部会が開かれておりました。

○又野委員長 そうすると、どちらかの作業部会には入るみたいな感じ。

門脇委員。

○門脇委員 前は、議会報告会は全員だったような気がします。

あと、議会だよりは、何人でしたっけ。

（「3名で」と声あり）

3名。やっぱり事前にそういうのがあったほうが、本番の委員会でスムーズにいろいろできましたので、やっぱり部会で練ったほうがよかったなと思ってますんで、あったほうがいいと思います。

○又野委員長 ありがとうございます。

そしたら、議会だよりは何人が決めて、議会報告会のほうはみんなでだったということですね。

じゃあ、別で考えるんじゃないくて、議会だよりだけの分で作業部会を考えれば、どちらか入るとかじゃなくてっていうことで、議会だよりの作業部会に入っていない人が、議会報告会の作業部会とかじゃなくて、それぞれ単独で考えればいいということですね。

門脇委員。

○門脇委員 前はそういうことでしたので。取りあえず議会報告会は、1回やりましたんで、一応経験があるので。前は全然ないゼロのところからずっとやっていきましたんで、だから、半々に分かれてやっていってもいいんじゃないかなと個人的には思います。それで、議会報告会も近づいてきたら、また形式は変えてでもやっていければいいと思いますので、ちょっと私はそのほうがいいんじゃないかなと思って。

○又野委員長 ありがとうございます。

錦織委員。

○錦織委員 私も門脇委員さんがおっしゃったように、前はかなり回数も多くて、議会報告会が初めてのやり方だったので、かなり詰めないといけなかったんですけど、今回は、前の分をある程度踏襲するっていうことでいいのかなというふうに思いますので、先ほどあった提案のように、半々ぐらいで初めはしといて、だけど、その部会の傍聴はできるということですよ。ということで、あとは近づいたらっていうことで、柔軟にされたいのかなっていうふうに思います。以上です。

○又野委員長 ありがとうございます。

今出ている意見は、2つの作業部会、議会だよりと議会報告会の作業部会、2つつくって、どちらかに委員さんが入ってもらうという意見が出てますけれども、ほかにこうしたらいいとかっていう御意見はございますでしょうか。もしなかったら、それで進めたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○又野委員長 では、どうしましょかね。こちら、まずは、議会だよりの作業部会のメンバーを決めさせてもらえばいいですかね。皆さん、どちらの作業部会かっているのは、もう心の中にありますでしょうか。

〔「議会だより」と吉岡委員〕

一応、じゃあ、御意見を順番に聞いてみましょうかね。

大下さんから、じゃあ。

○大下委員 議会だよりに…（聞き取れず）。

○又野委員 7名、4、3。

○又野委員長 門脇委員。

○門脇委員 前回のを踏襲すると、委員長と副議長は、両方に入るみたいな格好、両方。

それで5人、5人で。5人になるっけ、ですね。

○又野委員長　じゃあ、田村さんが両方っていうことだから、あとの6人で3、3になると。ああ、そうか、なるほどじゃあ、田村さん以外の委員さんで3、3に分かれるということで、大下委員がだよりで、吉岡さんも議会だよりということで、錦織委員は。

○錦織委員　私は、議会報告会のほうでお願いします。

○又野委員長　報告会。そうしたら、徳田委員。

○徳田委員　だよりでお願いします。

○又野委員長　だよりが。まだオーケーですね。

門脇委員。

○門脇委員　3人終わりました。

○又野委員長　取りあえず希望を。

○門脇委員　報告会。

○又野委員長　報告会。

○門脇委員　はい。

○又野委員　稲田委員。

○稲田委員　調整役で構いません。

○又野委員長　そうすると、今のところ、だよりのほうが3人、大下委員、吉岡委員、徳田委員ですので、稲田委員は、じゃあ、議会報告会のほうでということではよろしいでしょうか。

〔「はい」と稲田委員〕

そうしますと、報告会のほうが錦織委員、門脇委員、稲田委員ということできたいと思いますけれども、皆さん、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○又野委員長　ありがとうございます。すんなりと決めることができました。

そうしますと、先ほども事務局のほうからありましたけれども、議会だよりのほうの内容を、そしたら、この場ではなくて作業部会で話をしていくということになります。先ほど提案のありました日程で、そうしますと、議会だよりのほうを進めていくことになるかと思えますけれども、それで、今日は何か。

徳田委員。

○徳田委員　この作業部会①、②と分けてありますけども、例えばこの日は議会だより、この日は議会報告会というふうに分けてやるのではないですね。

○又野委員長　田淵係長。

○田淵議事調査担当係長　このスケジュールに出させていただいた資料2の内容につきましては、議会だよりだけの内容になりますので。

○徳田委員　ですね。分かりました。

○又野委員長　稲田委員。

○稲田委員　分かりました。私もスケジュールのことを伺いたくて、8月19日ですか、午前10時からなんですけど、これ、1日後の総務政策の日の午後とかは、候補にはなり得ますでしょうか。

○又野委員長　田淵係長。

○**田淵議事調査担当係長** 起案が、そうすると、ちょっと1日遅れるっていうようなことを考えておまして、21日が全協があるっていうところで……。ここで結論を出すのではなく、また検討させていただきたいというふうに思います。

○**又野委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** どうしても19日とか、要は19日を含めて、その前がいいんでしょうけれども、できれば20日、21、22辺りが候補にあれば、我々もスケジュール取りやすいので、配慮いただければありがたいということでお願いします。以上です。

○**又野委員長** 松田局長。

○**松田事務局長** 日程のほうは、今後ちょっと詰め直しまして、また御案内のほうさせていただきたいと思いますとともに、ちょっと本日の日程のほう、担当からちょっと説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いします。

○**又野委員** 田淵係長。

○**田淵議事調査担当係長** 作業部会につきましては、今回のこの広報広聴委員会が終わった後に、一度ちょっと説明をさせていただいて、次の作業部会のときまでに、こういったことを考えていただきたいというようにところを改めてまた説明させていただきたいというふうに思っております。以上です。

○**又野委員長** 分かりました。じゃあ、取りあえずメンバーが決まったということで、あと、議会だよりの作業部会のメンバーの方は、この後ちょっと残っていただくということで、よろしくお願いします。

吉岡委員。

○**吉岡委員** 資料1の対応済みと継続協議っていうのがあると思うんですけど、今回は検討はしないとは言われたんですが、継続協議になっているものって、前の前の期に決めたもので、前の期は、意見交換会の立ち上げだったので、多分議会だよりのほうはそのままでされたと思うんですけど、何か優先的に、これをやっていこうみたいなことは決まっていたのか、事務局に聞きたいんですが。

○**又野委員長** 次からでも対応できるっていうような。

○**吉岡委員** この期でここはやっていこうみたいなのが、前回決まっていたのかどうか。

○**又野委員長** 分かりますか。

田淵係長。

○**田淵議事調査担当係長** 特に、申し送りはされてるんですけども、何を先にとか、優先順位といったところまでは議論はされておられませんでした。

○**又野委員長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** それを前に進める段取りっていうのは事務局のほうで考えておられるのか。

○**又野委員長** 田淵係長。

○**田淵議事調査担当係長** 議論をしていただきながら、まず、これをしないといけないということでありましたら、それは印刷会社との兼ね合いもありますので、その辺の協議であるとか、また、予算等も必要になるような変更であるというようなことも考えられますので、御協議いただきながら、こちらのほうも印刷会社であるとか、予算であるとか、そういった組立てをしていきたいなというふうに思っております。以上です。

○**吉岡委員** 分かりました。

○又野委員長 この継続協議あたりも、いいですかね、ここじゃなくて作業部会のほうでいいんですかね。ここで話したほうがいいですか。

稲田委員。

○稲田委員 もし、こういう考えもあればというふうに聞いてもらえればと思うんですが、委員長と副委員長が今回新たに就かれて、副議長の入っておられます、意見も伺いながら、事務局を交えて、そこで最初練られたほうがいいと思います。それで、作業部会に振るのか、この全員のメンバーの委員会で振るのか、多分まだ皆さんの中で、過去委員になった、ならないとか、いろんな今差がありますので、ちょっと急に作業部会とか委員会でやるよりも、冒頭言ったように、正副委員長と副議長と事務局で継続協議をする、しない、するんであれば優先順位どうするかっていうところまで練ったものを出してもらいたいという意見です。以上です。

○又野委員長 ありがとうございます。

そうしましたら、作業部会でやるかとか、全体で話をしたらいいのかも含めて、正副と、あと副議長とで、事務局と相談しながら、そこら辺も提案していきたいと思いますんで。

吉岡委員。

○吉岡委員 すみません、じゃあ、ちょっと要望だけ言ってもいいでしょうか。

○又野委員長 はい。

○吉岡委員 私たちの一般質問の欄なんですけど、伊藤議員がレイアウトの提案を随分前にしてくださってると思うんですが、やっぱり今の縦書きが物すごい苦になるので、何か、その一般質問のところのレイアウトの協議をしていただけたらなと、私、個人的に要望しておきます。

（「横書きも含めて」と声あり）

横書きも含めて。

○又野委員長 分かりました。その辺りも含めて、ちょっと相談。吉岡委員は、作業部会だったとしても、どっちでも話はできますね。ということで、また、できればその場でも、どちらかにかけるのは間違いありませんので、意見を言っていただければと思いますんで、よろしくお願いいたします。

では、議会だよりについては、メンバーが作業部会決まったので、以上でよろしいでしょうかね。

門脇委員。

○門脇委員 スケジュールですが、作業部会が①、②とあって、前回もでしたけど、取りあえず、①で1回やって、そこんところでもう、そこで終わったら、そのまま②がなしで、広報広聴委員会、ちょっと19になるかどうか分かりませんが、そこにいく場合もありってやつですね。

○又野委員長 田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 今、門脇委員が言われたとおりで、①で決まるようであれば、そのまま広報広聴委員会にその案を持っていったいいのかなというふうに思っております。この後開く作業部会のほうで、何となしの大枠について決めていただこうかなというふうに思っておりまして、その大枠を基に、印刷会社とちょっと私のほうで協議しまして、そこで作業部会①で、まず提案をさせていただきたいと思います。そこである程度決まるよ

うであれば、そのまま広報広聴委員会のほうに向かっていったいいのかなというふうに思っておりますが、その作業部会の協議の内容次第であるというふうに思っております。以上です。

○又野委員長 門協委員、よろしいですか。

○門協委員 分かりました。すみません。

○又野委員長 じゃあ、話をしてみた結果で、次がどうなるかっていうところですね。

では、次に進んでよろしいでしょうか。では、続きまして、議会報告会・意見交換会についての協議でございます。

事務局のほうから説明をお願いいたします。

田村次長。

○田村事務局次長 では、次に、議会報告会・意見交換会について御説明させていただきます。

資料3のほうを御覧ください。前任期の委員会の進め方、検討結果、実施内容につきましてまとめております。前任期の委員会では、初めての試みとして開催しました議会報告会・意見交換会に向けて、個々の案件について、委員全員をメンバーとして作業部会を開催して、委員会でその後、確認、決定といった形で進められておりました。先ほどのお話で、前回は踏襲してというお話になりましたので、ただ、メンバーは3人プラス委員長、副議長といったメンバーで作業部会を開催して、その後委員会を開催して決定をしていくっていった流れになるかと思えます。ちなみに、前任期の委員会では、開催までに作業部会を6回、委員会を5回開催されて協議をされておられます。

開催までの主な検討経過ですけれども、1番のほうにまとめておりますけれども、大体前年の8月にはスケジュール案を提示して、9月末に新たな開催要項が制定されています。その後、実施マニュアルの協議を経て、4月25日、開催日の半年前の10月半ばに開催日時ですとか、開催場所を決定されています。その後、意見交換会のテーマを協議されて、12月に決定。1月以降は、意見交換会の参加団体ですとか、一般募集の人数だとか、当日の進め方とか、そういった具体的な協議に入って、2月中旬頃には概要を決定されておられます。一月前の3月の委員会において最終決定がされて、4月19日には全議員説明会を開催して、4月25日の開催に至っております。

当日の実施内容については御承知のとおりですので、説明は省かせていただきますけれども、2番のとおり実施をいたしました。

報告会実施後ですけれども、3のほうに載せておりますけれども、作業部会、委員会で、別紙でつけております振り返りを行いまして、各班長から提出のあった実施報告書を委員長で取りまとめて、委員会で内容を確認いたしまして、アンケート結果と一緒に実施報告書として議長のほうに提出しております。

前任期の委員会からの申し送りですけれども、4のほうに記載しておりますけれども、まず、各会派で、今回4月25日に実施した報告会の気づきといったものを漏れなく上げてもらって、課題を抽出していただき、それから別紙の振り返り内容と一緒に検証していただいた上で、早い段階から開催時期を決定してもらって、タイムスケジュールを作成して、計画的に協議・準備を進めていただきたいというような大きな申し送りがありました。申し送りのとおり、開催時期をある程度決めていただかないと、それに沿ってスケジュー

ルを立てて協議をしていくっていうことが必要だと思いますので、早めに開催時期をおおむねのところで決めていただいて、協議のタイムスケジュールといったものを決定をすることがまずは大事なというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。

この内容につきましては、作業部会のほうである程度練って、委員会で決めるとか、そういうところは協議をしていただければと思いますし、決定というところになると、議会だよりの委員会の開催に合わせて、そちらのほうも協議していただけたらなというふうに思っております。

説明のほうは以上です。

○又野委員長 ありがとうございます。

そうしますと、スケジュールを早めに決めるためには、いつ開催するのかっていうところですけども、それも先ほどの話であった正副と副議長と事務局で最初に相談してまた提案するのか、それとも、もうそこから作業部会に投げかけていいのか、そこら辺も含めてですけども、どういうふうに日程とかタイムスケジュールを進めていったらいいと、何か御意見あればお願いできますでしょうか。

稲田委員。

○稲田委員 過去2年、特に昨年1年は、その話をしてきたうちの1人でもあったんですけど、それ以前の昔の部分からも含めて、年1回開催するときに、どうしても1月、2月は雪の心配があると。ですので、秋か春か、夏だと今から準備する、この会が6月、7月からスタート切るので、夏はないし、秋にするのか、冬を飛ばし春にするのか。大体ずっとこの議論してきて、昨年度は4月にしてます。4月が一番、私も過去の経験から踏まえて、無理がないかなと思いました。雪の心配がないのと、もう一つは、要は、予算、決算に関することも一応規約にうたってあるもので、そうすると、やっぱり3月議会の予算を通した後のほうが、報告もより重みが増すのかなと思います。これは私の意見であって、例えば意見交換のほうがメインだということであれば、議会報告のほうの総体的な重さは変わるかもしれませんが、経験的に言うと、やっぱり春がいいかなっていうのは一応申し添えておきます。以上です。

○又野委員長 ありがとうございます。

じゃあ、大体の日程は、もうここで決めてもいいですか。皆さんおられるところがいいですね。

じゃあ、4月という御意見がありましたけども、それ以外に何か御意見がありますでしょうか。

じゃあ、昨年と同様な感じで、4月に向けてスケジュールも組んでいくと。そうすると、細かいスケジュールについては、あとは作業部会のほうで、事務局と最初にあれですかね、正副、副議長と相談して、また作業部会のほうで話をするというような進め方でよろしいんでしょうかね。いいですか。

門脇委員。

○門脇委員 今、委員長が言われたとおりでいいと思うんですけど、あと、ちょっと細くなりますけど、結局、今度対象者、どの方に案内するかによって、また、4月の中のどの曜日、例えば前回高校生だったら、夜したもんですから、何で土日じゃないのとかってあったんですよ。だから、そういうことも考えながら、4月の中のどの曜日、それから

昼がいいのか、夜がいいのか、対象者によって、また変わってくると思いますので、そのところも加味しながら案を決めていただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○又野委員長 ありがとうございます。

前回の議会報告会の振り返り申し送り事項の中にも、日程の細かい曜日とか、いつがいいのかとかもやっぱり検討が必要だっていう中身もありましたんで、この内容で検討したほうがいいところは作業部会のほうで検討はしていかないといけないかなとは思いますが、ありがとうございます。

では、こっちの議会報告会のほうの作業部会の日程っていうのは、これは、さっきのは、議会だよりのはある程度提案が出てたんですけど、この後また、そこら辺の日程をちょっと調整するんですけども、どう決めていきましょうか。

田村次長。

○田村事務局次長 メンバーが違いますので、議会だよりの作業部会に合わせる必要は、もうないかとは思いますが、もし同じような日程がよければ、議会だよりの作業部会の日程が2つ取ってありましたかね、どちらかで、まず1回目をさせていただいてもいいですけども、その辺りはまた調整させていただければと思います。

○又野委員長 確かに両方出ないといけないメンバーも何人かいるのを考えると、同じ日がいいのかなとは思いますが、合わせたような日で、できれば進めていきたいと思えますんで、皆さん、よろしくお願いいたします。

そうしますと、議会報告会・意見交換会については、ほかに何か。

吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと確認をしておきたいんですけど、この意見交換会っていうのは、議会での位置づけは、これは広聴っていうことになるんでしょうか。これは議会の広聴機能として意見交換会をしているという位置づけ。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 すみません、はいつて言わずに手を挙げて、すみませんでした、委員長。

確たるものはないので、すみません、私の理解はという言葉を前提として、特にそこは、これが広報で、これが広聴だというのがなくて、この活動全部が広報広聴みたいなことなので、そこを意識したこともなければ、何か明確な書き物があるわけでもないと認識します。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 議会基本条例の中では、どういうふうに位置づけられてるんですか。

○又野委員長 分かる方は。

稲田委員。

○稲田委員 意見を交換しとかっていう部分があって、意見交換会をやっていますが、ちょっと、条文見ながら確認してやったほうがいいと思いますので、何も触れてないことはないと思いますが、すみません、ちょっと一字一句、今、私はちょっと把握してないので、すみません、私が答える立場か今は分かりませんが、そのような答えになります。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと私が懸念しているのは、御意見を意見交換という形ではあるけど、

御意見をいただいて、議会の中で共有して終わりっていうことだと、何かわざわざ来ていただいた方から、議会はそれをじゃあ、議会に持っていかないのかっていうふうに、私たちの要望はどこに伝えるんですかっていうふうに言われたときに、それこそが多分広聴機能だと思うので、執行部のほうは執行部でアンケートを取られたりとか、そういう広聴っていうことをされてるけど、議会としては、広聴の機能って、この意見交換会だけしかないと思うので、何かその辺をそのうち参加者の方がはっと気づいて聞かれたときに、位置づけを決めておかないといけないのかなっていうふうには思います。理想としては、いただいた御意見を議会の中でもんで、それを執行部にきちんと要求していくっていうところまでできると、非常に市民の方は満足感があるのかなっていうふうには、個人的に思います。意見です。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 意見という終わり方だったので、ここで議論はしませんけれども、一応議員は出席して生の声聞いてますよね。だから、それを議員としての生かし方は、一般質問もあれば、例えば分科会で議員の責任で聞くということもありますので、まず、それを全く反映してないわけではないことは吉岡委員もお分かりの上で、じゃあ、そこで、また議員26人が協議をしてどうこうするということを目的には、私はしてないと思ってますので、意見交換会の着地点がそこではないと思ってますので、あくまでもって言い過ぎですけど、意見を聞くと、返せるなら意見を返すと、そういう場であるという認識で、ちょっとそれ以上の理解は持ってませんという意見です。終わります。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 今、議会基本条例を見ますと、第5条の2に明確にうたっておりまして、「議会は市政の諸課題に対処するため、市民と市政に関する情報及び意見を交換する場として議会報告会を開催するもの」と、「議会報告会の開催に関し必要な事項は、議長が定める。」という、こういう規定がございます。なので、直接聞いた意見を市政に反映するっていうのは、それはそれぞれの議員に任せられてるというふうに私は解釈しましたけど。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 それぞれの議員が意見を議会に持ち込むということは、当然のことなんだろうと思うんですけど、一応二元代表制っていうことになってますと、やっぱり執行部っていうのが、一応予算を提案する、ただ、それに決定権は議会が持っているんですが、個々の議員というよりは、議会そのものとしての意思表示っていうのは、これから考えていかないといけないと思うんですが、議会基本条例の中で、今、米子市議会ができてないことに、議員間討議というのがあります。例えばこのいただいた意見を基に、じゃあ、議会の一つのことを、その中から議論してピックアップして、何かぶつけていくというようなところで、今後、議員間討議っていうことも考えていけるいい材料になるのではないかなと私は考えているので、そういった意味で、また議会基本条例に基づいた考え方っていうのもちょっと整理をしていけるような議論の場になるといいなとは思っています。以上です。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 議会報告会というのは、先ほど申し上げたとおりなので、議員の活動原則っていうのは、当然これは自由に議員間で自由な討議を交えるっていうことは、当然これは日常やっとなことだと思いますんで、議会報告会のそれを終了した後に、またそれをそう

いう場にするとというのは、ちょっとこの基本条例からすると、正しく理解してないような気が、私はしますけど、条文自体を。

○又野委員長 議会報告会の後、どうしていくかっていうところですけども、それを基に議員の間で話をしていくのか、どうなのかっていうところが、どっかそういう場があるのかって言われたら、今ないと思うんですけども、そういう場をつくるのかどうなのかっていう話にもなってくるような気もするので、ちょっとまたそれは、今すぐどうこうっていうことは難しいのかなと思います。そのことについて、ぜひともっていう声が広まってくるようでしたら議論していきたいなと思います。取りあえず今のところは意見を聞かせていただいたということでさせてください。すみません。

稲田委員。

○稲田委員 これ、その他で言ったほうがいいかな。今、要項とかの話出てくるんで、今見てみると、令和6年度の広報広聴の中に、そういった類いのフォルダがあるのかな。今私が見る限りはなさそうなので、ちょっと要項等をフォルダで一つ作っというてもらったほうがいいのかなと思いました。伝わりましたかね。お願いします。すみません、ちょっとお願いでした。

○又野委員長 すぐ分かるようにということですよ。ありがとうございます。

そうしますと、ほかに議会報告会・意見交換会について、何か御意見ございますでしょうか。

では、この件については終わりたいと思います。

そうしますと、最後に、その他ですけども、何かこれ、今までの話以外で、何か御意見等あれば、ないですかね。

徳田委員。

○徳田委員 今、改めて見たらなんですけど、裏表紙、一番この裏ですけど、広報よなごは、印刷会社の記載があったと思うんですけど、議会だよりは、今見てみますと、ちょっとないのは、何か、僕も今回新たに広報広聴委員になったもんですから、その辺の経緯がちょっと分からないんですけど、何か理由があってですかね。

○又野委員長 田淵係長。

○田淵議事調査担当係長 すみません、ちょっと存じ上げておりませんで、すみません、またお話しさせていただけたらなというふうに思います。それは、徳田委員のほうからは、載せたほうがいいという御要望ということでよろしいのでしょうか。

○徳田委員 印刷会社をかますのであれば、位置づけ的には広報よなごと同じ位置づけだと思うんですよ。印刷する時期は別としまして。そうであれば、広報よなごには載せて、これには載せない理由っていうのがあるのかなと思って、あえてちょっと聞かせていただいたところです。普通はどの広報紙見ても載ってるような気がするんですけど、個人的に。

○田淵議事調査担当係長 承知しました。秘書広報課等にもちょっと確認をしながら考えたいと思います。

○又野委員長 じゃあ、この後、今後確認してっていうことで。いいですかね。

ほかに何かございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○又野委員長 ほか、事務局からは何かありますか。大丈夫ですかね。

議長からも大丈夫ですかね。せっかくですんで。

そうしますと、ないようですので、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 1 時 5 5 分 閉会

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴臨時委員長 錦 織 陽 子

広報広聴委員長 又 野 史 朗